

市政に関する 般質問の概要

道路整備による 交通安全施策の推進

新政海クラブ 氏家 康太



問：交通管理者の警察だけでなく、道路管理者の市も交通安全施策の重要な担当者です。運転者のミスが交通事故の原因の一因であるとの調査研究がありますが、人は常にミスを起こし得ます。道路の構造面を改善することにより、そのミスを減らす対策を講じることが大切であると考えています。市では、交通安全施策を道路整備にどのように盛り込んでいるのか伺います。また、住民と一緒に盛り込んだ安全な道路環境の整備推進についての考え方を伺います。

答（建設部長）：幹線・準幹線等の交通量の多い道路整備は、歩車道境界ブロックで分離するなどの対策により歩行者の安全確保に努めています。また、道路事故が発生する恐れの高い路線で事故減少が図れるところを優先に道路照明灯の設置を進め、夜間の交通安全対策を講じています。なお、整備にあたっては、自治会要望に応じ緊急性、事業効果等を踏まえた上で判断し、優先順位を決めていきます。



▲歩車道境界ブロックで歩行者の安全対策

市道1号線交差点 拡幅改良の見通しは

新政海クラブ 藤澤 菊枝



問：市道1号線と県道藤沢厚木の交差点は、幅が狭く、車道内に電柱が立つており大型車のすれ違いができない、朝夕に渋滞を引き起こしています。また、この部分は、歩道の整備もされません。交差点の拡幅改良の見通しを伺います。

答（市長）：交通量が多く歩行者の安全確保が必要な路線への歩道整備や見通しが悪い危険な交差点の改良を実施しています。また、これらの整備は優先順位を決め、整備計画に取り入れて事業を進めているところです。

問：12年4月に地方分権一括法が施行され、国の機関委任事務制度が全廃されましたが、市に何が変わったことにより、法的に国と

本年6月に地方分権一括法が施行され、市の機関委任事務制度が全廃されました。近隣地の土地利用に

9月10日、11日に議員20名が市の考え方をただしました。答弁を紹介します。

東柏ヶ谷近隣公園拡張 どのように

新政海クラブ 鈴木 翁太



問：東柏ヶ谷近隣公園は、地域住民の憩いの場であるとともに、地域にある唯一の広域避難場所ですが、公園面積がまだまだ狭いのが現状です。公園の拡張について6月の臨時議会では、近隣住民の意向をアンケートするとのことでし

答（まちづくり部長）：意向調査の結果は、賛成となり、反対の意見がおおむね半々でした。条件や時期が合えば協力するとの意見もあり、今後も区域拡大に向かって、各種政策の立案から実施まで、統一的、総合的に改廃はすべてこの条例を示すとともに、政策の基本指針となつております。現在、例規の制定および改廃はすべてこの条例を最大限に尊重した上で行われ、各種政策の立案から実施まで、統一的、総合的に改廃はすべてこの条例を示すとともに、政策の基本指針となつております。現在、例規の制定およ

答（市長）：各自治体が抱える地域の課題は多種多样であり、国の法令は全国一律のため、各地域で発生する課題に十分対応することができます。

答（市長）：各自治体が抱える地域の課題は多種多样であり、国の法令は全国一律のため、各地域で発生する課題に十分対応することができます。

答（まちづくり部長）：最大限に尊重した上で行われ、各種政策の立案から実施まで、統一的、総合的に改廃はすべてこの条例を示すとともに、政策の基本指針となつております。現在、例規の制定およ

問：市で行っている各種がん検診を、地域の病院でも受診できる様にすべきと考えますが、市としての認識を伺います。

答（市長）：21年3月に策定した健康づくりプランでがん対策を重要施策のひとつとして位置づけてお

いて、各種がん検診の充実を図っています。また、がん検診の充実に努めています。

がん検診を受けやすく 共産党 佐々木 弘



問：市で行っている各種がん検診を、地域の病院でも受診できる様にすべきと考えますが、市としての認識を伺います。

答（市長）：21年3月に策定した健康づくりプランでがん対策を重要施策のひとつとして位置づけてお



▲拡幅整備が急がれる市道1号線交差点

駅も青少年健全育成 運動に協力を

海政会 飯田 英榮



問：「こんばんは！青少年健全育成です」。かしわ台駅舎外の西口で、相談センター補導員等関係団体役員による一斉補導活動が行われ、啓発ティッシュを配布したことです。駅員による一斉補導活動が行われ、啓発ティッシュを配布したことです。駅員

答（教育部長）：駅に確認したところ、利用者から「大勢で通行しにくい」という申し出があり、駅員がお願いしたもので協力を拒むものではなかつたとのことです。鉄道会社からは青

少年健全育成事業について、全面的に協力するとの確認をいただいています。

答（教育部長）：駅に確認したところ、利用者から「大勢で通行しにくい」という申し出があり、駅員がお願いしたもので協力を拒むものではなかつたとのことです。鉄道会社からは青

少年健全育成事業について、全面的に協力するとの確認をいただいています。